

令和6年度

学校評価の結果報告書



大府市立東山小学校

目 次

1	学校評価のねらい	P 1
2	教育の質を高めるための流れ	
3	実施方法	
	(1) 時 期	
	(2) 対 象	
4	東山小学校の教育 ・ グランドデザイン	P 2
5	児童・保護者・教師アンケート結果と三者比較	P 3
6	三者アンケート結果の前年度との比較	P 6
7	対象別のアンケート結果	P 8
8	考 察	P 11
	(1) 学校評価アンケートの結果から	
	(2) まとめ	
9	学校評議員の皆様のご意見から	P 14

令和6年度 学校評価について

1 学校評価のねらい

児童の健やかな成長を目指し、学校が児童の学習状況や教育課程の実施状況等に関する自己点検・自己評価を行い、その成果や課題を明らかにしながら、自校の学校運営や教育活動の改善を進める。

2 教育の質を高めるための流れ

Plan（計画） → Do（実践） → Check（評価） → Action（改善）
→ Plan（計画）

3 実施方法

(1) 時 期

- ① 12月9日～12月19日実施
- ② 12月19日回答完了
- ③ 1月～ 集計結果の分析と改善策の研究集計
- ④ 3月 学校評議員会
- ⑤ 3月 保護者への公表

(2) 対 象

- ・教職員による評価
- ・保護者による評価
- ・4、5、6年児童による評価（令和5年度より4年生を追加）

4 東山小学校グランドデザイン

令和6年度 東山小学校 グランドデザイン



さわやかあいさつ かわそう意見 なかまとともに

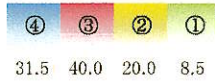
5 児童・保護者・教師アンケート結果と三者比較

(数値%)

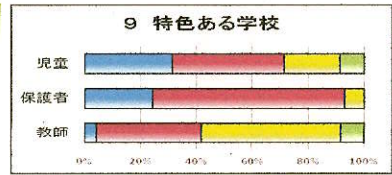
項目	児童	保護者	教師	④	③	②	①
1 あいさつができる	児童 私は、友達や先生に進んであいさつができています。	保護者 お子様は、友達や先生に進んであいさつができています。	教師 私は、児童が進んであいさつができるよう指導している。	32.8	46.0	18.7	2.5
2 学校が楽しい	児童 私は、楽しくなかよく遊びや勉強、運動ができています。	保護者 お子様は、学校が楽しいと感じています。	教師 私は、児童が学校を楽しく感じられるよう、工夫・努力している。	51.5	38.3	8.5	1.7
3 相談できる	児童 先生は、相談にのってくれる。	保護者 お子様は、先生に気軽に相談できると感じています。	教師 私は、児童が気軽に相談できるように心がけている。	46.0	43.4	8.1	2.5
4 いじめのない学級・学校	児童 学校は、いじめのない学級・学校づくりに努めている。	保護者 学校は、いじめのない学級・学校づくりに努めている。	教師 私は、いじめのない学級づくりに努めている。	32.3	50.7	11.9	5.1
5 間違っただ行動に指導	児童 先生たちは、いけない行動には、しっかり注意してくれる。	保護者 先生たちは、子どもの間違っただ行動に、しっかりした対応をしています。	教師 私は、児童の間違っただ行動に、しっかりした対応をしています。	62.2	30.6	5.1	2.1
6 分かりやすい授業	児童 先生は、分かりやすい授業をしてくれる。	保護者 お子様は、ICT機器の活用等により、授業が分かりやすいと言っている。	教師 私は、分かりやすい授業づくりのための授業改善を心がけている。	62.6	31.9	4.3	1.2
7 話を聞く	児童 私は、先生や友達の話をよく聞いている。	保護者 お子様は、先生や友達の話をよく聞いている。	教師 私は、児童や友達の話をよく聞くように指導している。	39.6	51.9	7.7	0.8
8 表現力の育成	児童 先生は、授業で発表する時間を多く作っている。	保護者 先生は、子どもたちの表現力(伝え合う力)を高める努力をし、成果を上げている。	教師 私は、児童の表現力(伝え合う力)を高める努力をし、成果を上げている。	35.3	53.6	9.8	1.3

9 特色ある学校

児童 けやきっ子活動等、縦割りの活動はとても楽しい。
 保護者 学校は、けやきっ子活動等、特色ある学校づくりを行っている。
 教師 学校は、けやきっ子活動等、他校にない独自の教育活動を行い成果を上げている。

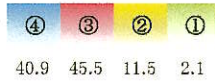


児童	31.5	40.0	20.0	8.5
保護者	24.4	68.7	6.9	0.0
教師	4.2	37.5	50.0	8.3

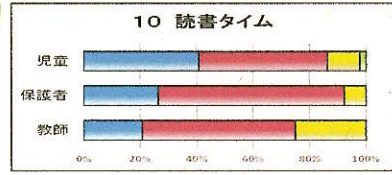


10 読書タイム

児童 読書タイムはとても大切な時間だ。
 保護者 学校は、読書タイムや体験活動などを大切にし、豊かな心を育てようとしている。
 教師 学校は、読書タイムや体験活動などを大切にし、豊かな心を育てようとしている。

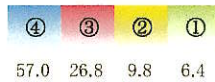


児童	40.9	45.5	11.5	2.1
保護者	26.5	65.9	7.6	0.0
教師	25.0	54.2	20.8	0.0

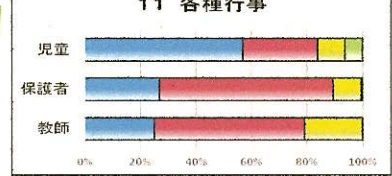


11 各種行事

児童 運動会等の各種行事はとても楽しみだ。
 保護者 運動会等の各種行事は、豊かな心や自主性を育てている。
 教師 運動会等の各種行事は、豊かな心や自主性を育てている。

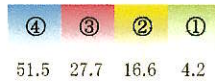


児童	57.0	26.8	9.8	6.4
保護者	26.9	62.5	10.2	0.4
教師	20.8	54.2	25.0	0.0

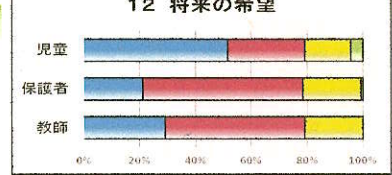


12 将来の希望

児童 私は、将来の夢や希望を持っている。
 保護者 お子様は、将来の夢や希望を持っている。
 教師 私は、児童が将来の夢や希望をもてるように語っている。

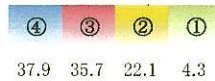


児童	51.5	27.7	16.6	4.2
保護者	21.1	57.5	20.7	0.7
教師	29.2	50.0	20.8	0.0

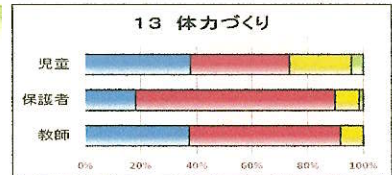


13 体力づくり

児童 私は、体力づくりに心がけながら生活している。
 保護者 先生たちは、子どもに健全な心と健康な体をつくることを意識して指導している。
 教師 私は、児童の健全な心と健康な体をつくることを意識して指導している。

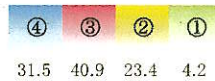


児童	37.9	35.7	22.1	4.3
保護者	18.2	71.6	8.7	1.5
教師	37.5	54.2	8.3	0.0

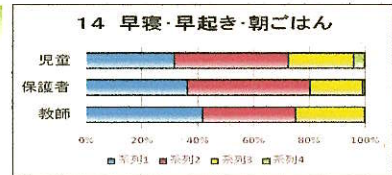


14 早寝・早起き・朝ごはん

児童 私は、早寝・早起き・朝ごはんを心がけて生活している。
 保護者 お子様は、早寝・早起き・朝ごはんを心がけて生活している。
 教師 私は、早寝・早起き・朝ごはんの大切さを指導している。

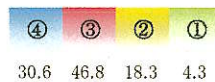


児童	31.5	40.9	23.4	4.2
保護者	36.4	44.0	18.9	0.7
教師	41.7	33.3	25.0	0.0

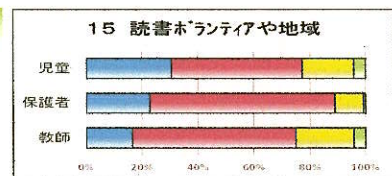


15 読書ボランティアや地域

児童 読書ボランティアや地域の方から学ぶことはとてもうれしい。
 保護者 学校は、読書ボランティア等、家庭や地域との連携・協力を努めている。
 教師 学校は、読書ボランティアや地域の方から学ぶことを、教育に生かしている。

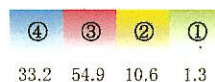


児童	30.6	46.8	18.3	4.3
保護者	22.9	66.2	10.2	0.7
教師	16.7	58.3	20.8	4.2

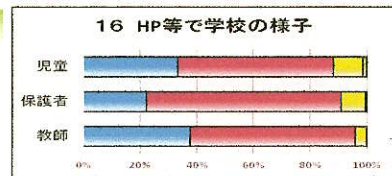


16 HPや学校だより等で学校の様子

児童 ホームページや学校だより、学年通信は学校のことが分かりやすくのっている。
 保護者 学校は、ホームページや学校だより等で教育内容や教育方針を分かりやすく伝えている。
 教師 学校は、ホームページや学校だより等で教育内容や教育方針を分かりやすく伝えている。

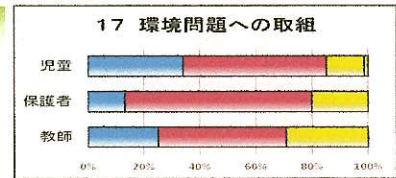


児童	33.2	54.9	10.6	1.3
保護者	22.2	68.7	8.7	0.4
教師	37.5	58.3	4.2	0.0



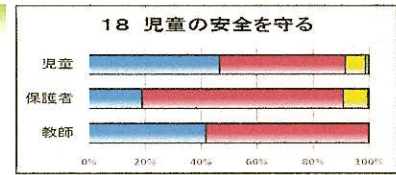
17 環境問題への取り組み

	④	③	②	①
児童	34.0	51.1	13.6	1.3
保護者	13.1	66.9	20.0	0.0
教師	25.0	45.8	29.2	0.0



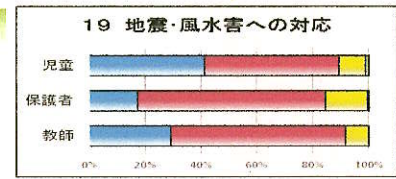
18 児童の安全を守る

	④	③	②	①
児童	46.8	44.7	7.2	1.3
保護者	18.9	72.0	8.7	0.4
教師	41.7	58.3	0.0	0.0



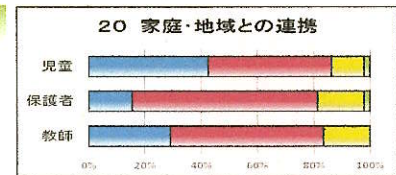
19 地震風水害への対応

	④	③	②	①
児童	41.3	48.1	9.4	1.2
保護者	17.5	66.9	15.3	0.3
教師	29.2	62.5	8.3	0.0



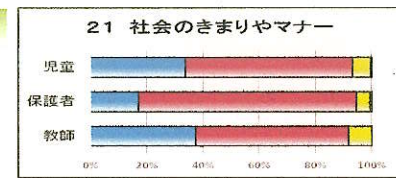
20 家庭・地域との連携

	④	③	②	①
児童	42.6	43.8	11.5	2.1
保護者	15.6	65.8	16.4	2.2
教師	29.2	54.2	16.6	0.0



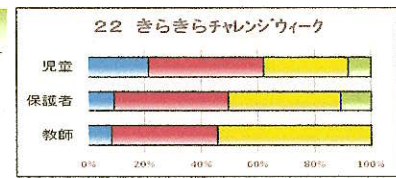
21 社会のきまりやマナー

	④	③	②	①
児童	33.6	59.6	6.4	0.4
保護者	17.1	77.5	4.7	0.7
教師	37.5	54.2	8.3	0.0



22 きらきらチャレンジウィーク

	④	③	②	①
児童	21.3	40.9	29.8	8.0
保護者	9.1	40.4	39.6	10.9
教師	8.3	37.5	54.2	0.0



6 三者アンケート結果の前年度との比較

※「よくあてはまる」「あてはまる」の合計割合を「達成率」とし、

達成率80%以上=◎、70%以上～80%未満=○、70%未満=△と表記

割合の変化

↑	昨年度より高い
↓	昨年度より10%以上低い

No.	設 問	結果	6年度	5年度比	5年度	4年度
1	児童 私は、友達や先生に進んであいさつができています。	○	78.8%	↓ -0.3%	79.1%	88.6%
1	保護者 お子様は、友達や先生に進んであいさつができています。	◎	81.1%	↓ -3.0%	84.1%	82.3%
1	教師 私は、児童が進んであいさつができるよう指導している。	◎	91.7%	↓ -0.9%	92.6%	95.0%
2	児童 私は、楽しくなかよく遊びや勉強、運動ができています。	◎	89.8%	↑ 0.9%	88.9%	95.9%
2	保護者 お子様は、学校が楽しいと感じている。	◎	89.5%	↓ -1.8%	91.3%	90.9%
2	教師 私は、児童が学校を楽しく感じられるよう、工夫・努力している。	◎	95.9%	↑ 3.3%	92.6%	100.0%
3	児童 先生は、相談にのってくれる。	◎	89.4%	↑ 4.3%	85.1%	94.6%
3	保護者 お子様は、先生に気軽に相談できると感じている。	○	73.9%	↓ -3.6%	77.5%	78.2%
3	教師 私は、児童が気軽に相談できるように心がけている。	◎	87.5%	↓ -5.1%	92.6%	90.0%
4	児童 学校は、いじめのない学級・学校づくりに努めている。	◎	83.0%	↑ 6.1%	76.9%	88.0%
4	保護者 学校は、いじめのない学級・学校づくりに努めている。	◎	88.4%	↓ -2.8%	91.2%	92.2%
4	教師 私は、いじめのない学級づくりに努めている。	◎	100.0%	↑ 3.7%	96.3%	100.0%
5	児童 先生たちは、いけない行動には、しっかり注意してくれる。	◎	92.8%	↓ -0.3%	93.1%	98.6%
5	保護者 先生たちは、子どもの間違った行動に、しっかりした対応をしている。	◎	90.6%	↓ -2.0%	92.6%	92.0%
5	教師 私は、児童の間違った行動に、しっかりした対応をしている。	◎	100.0%	↑ 3.7%	96.3%	100.0%
6	児童 先生は、分かりやすい授業をしてくれる。	◎	94.5%	↑ 2.2%	92.3%	97.3%
6	保護者 お子様は、ICT機器の活用等により、授業が分かりやすいと言っている。	◎	86.9%	↓ -0.6%	87.5%	86.5%
6	教師 私は、分かりやすい授業づくりのための授業改善を心がけている。	◎	87.5%	↓ -1.4%	88.9%	95.0%
7	児童 私は、先生や友達の話をよく聞いている。	◎	91.5%	↓ -0.8%	92.3%	95.3%
7	保護者 お子様は、先生や友達の話をよく聞いている。	◎	85.5%	↑ 0.1%	85.4%	86.7%
7	教師 私は、児童や友達の話をよく聞くように指導している。	◎	100.0%	↑ 3.7%	96.3%	100.0%
8	児童 先生は、授業で発表する時間を多く作っている。	◎	88.9%	↑ 2.5%	86.4%	89.9%
8	保護者 先生は、子どもたちの表現力(伝え合う力)を高める努力をし、成果を上げている。	◎	86.1%	↓ -2.5%	88.6%	87.2%
8	教師 私は、児童の表現力(伝え合う力)を高める努力をし、成果を上げている。	△	66.7%	→ 0.0%	66.7%	80.0%
9	児童 けやきっ子活動等、縦割りの時間はとても楽しい。	○	71.5%	↑ 12.9%	58.6%	65.1%
9	保護者 学校は、けやきっ子活動等、特色ある学校づくりを行っている。	◎	93.1%	↓ -1.3%	94.4%	93.8%
9	教師 学校は、けやきっ子活動等、他校にない独自の教育活動を行い成果を上げている。	△	41.7%	↓ -25.0%	66.7%	70.0%
10	児童 読書タイムはとても大切な時間だ。	◎	86.4%	↑ 11.1%	75.3%	81.8%
10	保護者 学校は、読書タイムや体験活動などを大切にし、豊かな心を育てようとしている。	◎	92.4%	↓ -2.0%	94.4%	95.8%
10	教師 学校は、読書タイムや体験活動などを大切にし、豊かな心を育てようとしている。	○	75.0%	↓ -2.8%	77.8%	90.0%
11	児童 運動会等の各種行事はとても楽しみだ。	◎	83.8%	↑ 2.6%	81.2%	94.0%
11	保護者 運動会等の各種行事は、豊かな心や主体性を育てている。	◎	89.4%	↓ -3.7%	93.1%	92.9%
11	教師 運動会等の各種行事は、豊かな心や主体性を育てている。	○	79.2%	↓ -6.0%	85.2%	95.0%

※「よくあてはまる」・「あてはまる」の合計割合を「達成率」とし、

達成率80%以上=◎、70%以上～80%未満=○、70%未満=△と表記

↑	昨年度より高い
↓	昨年度より10%以上低い

No.	設 問	結果	6年度	5年度比	5年度	4年度
12	児童 私は、将来の夢や希望をもっている。	○	79.2%	↑ 1.9%	77.3%	77.2%
12	保護者 お子様は、将来の夢や希望をもっている。	○	78.6%	↑ 0.9%	77.7%	82.5%
12	教師 私は、児童が将来の夢や希望をもてるように語っている。	○	79.2%	↑ 8.8%	70.4%	80.0%
13	児童 私は、体力づくりに心がけながら生活している。	○	73.6%	↑ 3.1%	70.5%	72.5%
13	保護者 先生たちは、子どもの健全な心と健康な体をつくることを意識して指導している。	◎	89.8%	↓ -0.9%	90.7%	92.2%
13	教師 私は、児童の健全な心と健康な体をつくることを意識して指導している。	◎	91.7%	↓ -4.6%	96.3%	100.0%
14	児童 私は、早寝、早起き、朝ごはんを心がけて生活している。	○	72.4%	↑ 1.8%	70.6%	78.5%
14	保護者 お子様は、早寝、早起き、朝ごはんを心がけて生活している。	◎	80.4%	↓ -1.9%	82.3%	82.3%
14	教師 私は、早寝、早起き、朝ごはんの大切さを指導している。	○	75.0%	↓ -6.5%	81.5%	90.0%
15	児童 読書ボランティアや地域の方から学ぶことはとてもうれしい。	○	77.4%	↑ 12.0%	65.4%	76.5%
15	保護者 学校は、読書ボランティア等、家庭や地域との連携・協力を努めている。	◎	89.1%	↓ -2.2%	91.3%	92.2%
15	教師 学校は、読書ボランティアや地域の方から学ぶことを、教育に生かしている。	○	75.0%	↑ 0.9%	74.1%	85.0%
16	児童 ホームページや学校だより、学年通信は学校のことが分かりやすくなっている。	◎	88.1%	↑ 2.2%	85.9%	91.9%
16	保護者 学校は、ホームページや学校だより等で教育内容や教育方針を分かりやすく伝えている。	◎	90.9%	↑ 1.0%	89.9%	90.4%
16	教師 学校は、学校だより等で教育内容や教育方針を分かりやすく伝えている。	◎	95.8%	↓ -0.5%	96.3%	90.0%
17	児童 私は、電気や水を大切に、ゴミの減量など環境問題についてよく意識している。	◎	85.1%	↑ 13.3%	71.8%	75.8%
17	保護者 学校は、電気や水の大切さ、ゴミ減量など環境問題についてよく指導している。	◎	80.0%	↓ -5.2%	85.2%	79.9%
17	教師 私は、電気や水の大切さ、ゴミ減量など環境問題についてよく指導している。	○	70.8%	↑ 11.5%	59.3%	70.0%
18	児童 学校では、安全に生活することができている。	◎	91.5%	↓ -0.4%	91.9%	93.2%
18	保護者 学校は、適切に交通安全や不審者対策を施し、児童の安全を守っている。	◎	90.9%	↑ 0.8%	90.1%	87.4%
18	教師 学校は、適切に交通安全や不審者対策を施し、児童の安全を守っている。	◎	100.0%	↑ 14.8%	85.2%	100.0%
19	児童 学校は、地震や風水害時の対応について分かりやすく説明し、適切な対応をしている。	◎	89.4%	↑ 1.8%	87.6%	95.3%
19	保護者 学校は、地震や風水害時の対応について分かりやすく説明し、適切な対応をしている。	◎	84.4%	↓ -3.7%	88.1%	83.5%
19	教師 学校は、地震や風水害時の対応について分かりやすく説明し、適切な対応をしている。	◎	91.7%	↑ 10.2%	81.5%	100.0%
20	児童 先生は、必要があれば家への連絡をしてくれる。	◎	86.4%	↑ 4.3%	82.1%	90.6%
20	保護者 学校は、保護者・地域の願いや声を聞こうとしている。	◎	81.4%	↓ -4.8%	86.2%	81.9%
20	教師 私は、家庭への連絡や意思の疎通を積極的に行っている。	◎	83.4%	↑ 1.9%	81.5%	95.0%
21	児童 私は、社会のきまりやマナーを守っている。	◎	93.2%	↑ 1.3%	91.9%	93.3%
21	保護者 先生たちは、集団の秩序や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	◎	94.6%	↑ 1.5%	93.1%	92.4%
21	教師 学校は、集団の秩序や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	◎	91.7%	↑ 2.8%	88.9%	100.0%
22	児童 私は、きらきらチャレンジとして家族や自分で決めた実践目標に取り組んでいる。	△	62.2%	↓ -2.4%	64.6%	72.3%
22	保護者 お子様は、きらきらチャレンジとして家族や自分で決めた実践目標に取り組んでいる。	△	49.5%	↑ 1.8%	47.7%	51.8%
22	教師 きらきらチャレンジウィークには、家族や自分で決めた実践目標に取り組むよう指導している。	△	45.8%	↑ 8.8%	37.0%	90.0%

④ よくあてはまる

③ あてはまる

② あまりあてはまらない

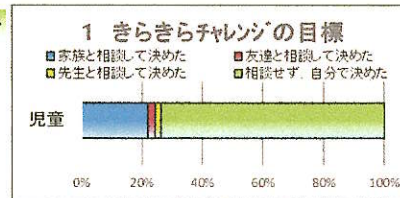
① まったくあてはまらない

7 対象別のアンケート結果

児童のみの項目

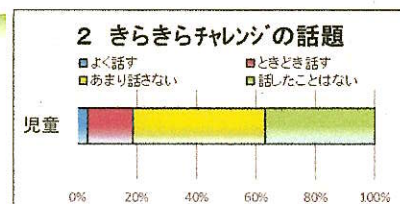
1 きらきらチャレンジの目標はだれと決めたか。

④家族	③友達	②先生	①自分で
21.7	2.6	1.7	74.0



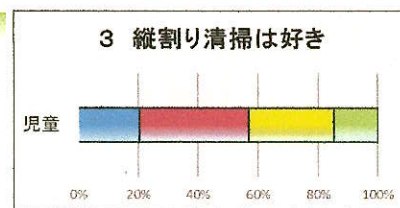
2 家族ときらきらチャレンジについて話すことはあるか。

④	③	②	①
3.4	15.3	44.3	37.0



3 縦割り清掃はいつもの清掃より好きだ。

④	③	②	①
20.4	36.2	28.5	14.9

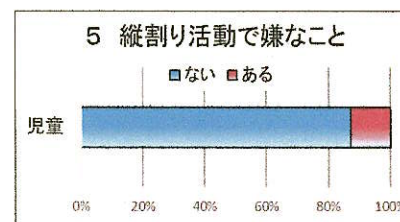


4 縦割りの活動のよいところは何か。

- ・違う学年との仲を深められる。
- ・一年生に掃除を教えるのが楽しい。
- ・違う仲間、違う学年と関わりながら協力して取り組んで掃除すること。
- ・全学年の子たちと掃除や遊びをして、仲を深められる。
- ・1年生がしっかりやってくれるのと、6年生が優しい。
- ・初対面の人たちとのコミュニケーションをとる実践練習みたいでよい。 など。
- ・いろいろな掃除場所を掃除できる。
- ・知らない人でも、声をかけてくれる。

5 縦割りの活動での嫌なことはあるか。

ない	ある
87.2	12.8

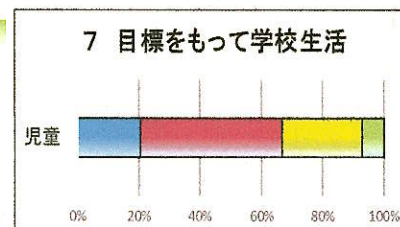


6 どんなことが嫌だと思うか。

- ・好き勝手する人や話を聞いてくれない人が多い。
- ・低学年の掃除道具の取り合いで掃除が進まない。
- ・慣れていない場所を掃除するので、どうすればいいかわからない。
- ・話すことがなく、気まずい。
- ・他学年との採め事に困っている。
- ・話す時間をうまくもらえない。
- ・全く知らない子と掃除をするのが嫌。
- ・慣れていない場所で時間に間に合わないことがある。 など。

7 1年間や学期ごとの目標を立てて学校生活を送っている。

④	③	②	①
20.4	46.4	26.0	7.2



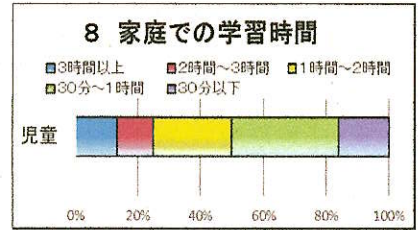
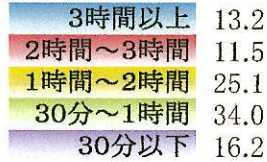
④ よくあてはまる

③ あてはまる

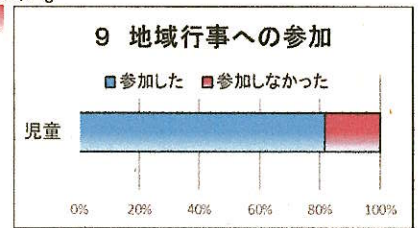
② あまりあてはまらない

① まったくあてはまらない

8 月曜日～金曜日に、家や塾でどのくらい勉強をしているか。

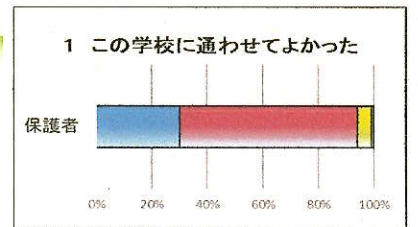


9 地域の夏祭り、ごみゼロ運動、公民館祭りなどの活動に1回でも参加した。

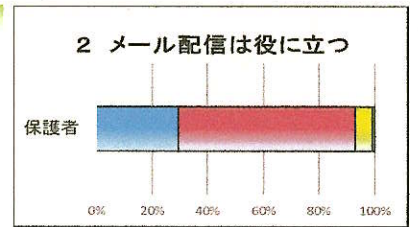


保護者のみの項目

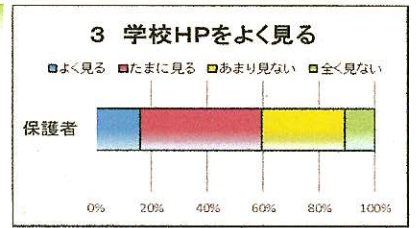
1 この学校に通わせてよかった。



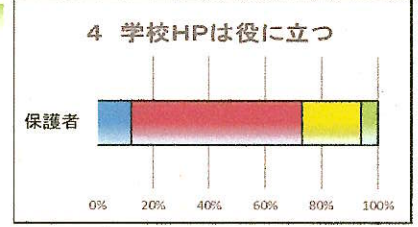
2 メール配信から得られる情報は、必要で役に立つ。



3 学校のホームページをよく見るか。



4 学校のホームページから得られる情報は、必要で役に立つ。



④ よくあてはまる

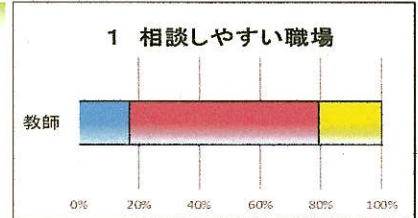
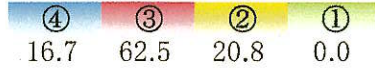
③ あてはまる

② あまりあてはまらない

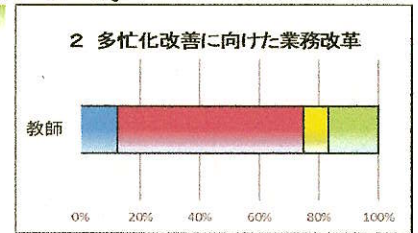
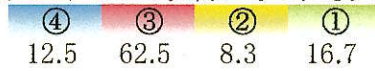
① まったくあてはまらない

教師のみの項目

1 授業づくりや学級経営などについて相談しやすい雰囲気がある。



2 多忙化解消が進むように、業務の内容や進め方の改善に取り組もうとしている。



8 考 察

(1) 学校評価アンケートの結果から

児童・保護者・教師アンケート結果と三者の比較について (P 6、7 参照)

① アンケート項目 (27項目中、三者比較できる22項目) について

※「よくあてはまる」、「あてはまる」の回答の合計割合を「達成率」とする。

※達成率80%以上の項目は◎、70～80%の項目は○、70%未満の項目は△の記号を結果欄に記し、達成率を昨年度と比較して、割合が増えている項目には「 ↑ 」、減っているものには「 ↓ 」の記号を比較欄に記した。また、「 ↓ 」の内、10%以上減っているものは「 ↓ 」とした。

② 達成率の増減を基にした分析 ※ () は、昨年度の項目数

	達成率増加の項目数	達成率減少の項目数	達成率が同じ項目
児 童	17 (1)	5 (21)	0 (0)
保 護 者	6 (12)	16 (9)	0 (1)
教 師	12 (2)	9 (20)	1 (0)
三者共に達成率増加の項目 (昨年は、0)	12 将来の希望 21 社会のきまりやマナー		
三者共に達成率減少の項目 (昨年は、6) → 4、7、10、13、15、22	1 あいさつができる		

今年度も、4～6年生の3学年を対象にアンケートを実施した。これまでと同様に、達成率増加の項目数と減少の項目数を昨年度との比較や経年変化で分析し、指導や取組の参考としていきたい。

児童のアンケート結果では、達成率の増加項目数が17項目で、昨年度より16項目増えた。達成率の減少項目数は5項目で昨年より16項目減少した。達成率が特に大きい項目は、例年と変わらず「6先生は、分かりやすい授業をしてくれる」「21わたしは学校の決まりやマナーを守っている」「5先生たちは、いけない行動には、しっかり注意してくれる」であった。子どもたちのことを見守り支えている教師の存在が本年度も継続され、安心して学校生活を送るうえでの基盤が保たれていると考えられる。

児童の達成率が増加している項目を見てみると、4つの項目「17わたしは電気や水を大切にし、ゴミの減量など環境問題についてよく意識している」「9けやきっ子活動等、縦割りの時間はとても楽しい。」「15読書ボランティアや地域の方から学ぶことはとてもうれしい」「10読書タイムはとても大切な時間だ」において、10%以上の増加が見られた。4年生、5年生で学習する災害や環境問題について主体的に取り組む児童が多いこと、総務委員が中心

となって全校児童で楽しむ企画が多く行われたこと、読み聞かせボランティア「ダンボの会」の皆様との交流を楽しみにしている児童が多いこと、などが要因として考えられる。異学年や地域の方との交流を楽しんでいる児童が増え、コロナ禍前の状態に戻りつつあるのではないかと感じている。学校行事や地域の方と交流する時間が削減されたり、取組方が変化したりしてきているが、人との関わりから学ぶことや、人との交流で心を豊かにしていくことは継続していけるようにしたい。限られた学校教育の時間の中、これからの社会で豊かに生き抜く力をつけられるよう、児童に、何に取り組ませ、どんな経験をさせていくか、引き続き整理・精選していくことが必要である。

保護者のアンケート結果では、達成率増加の項目数は6項目であった。昨年度と比べて達成率が特に増加した項目は「22お子様は、きらきらチャレンジとして家族や自分で決めた実践目標に取り組んでいる」であったが、達成率は49.5%と最も低く、まだまだ改善に向けた取組が必要である。達成率が高い項目を見ると「21先生たちは、集団の秩序や社会のルールを守る態度を育てようとしている」が94.6%と最も高く、昨年との比較でも1.5%増加した。一方、特に達成率が減少した項目を見ると、「17学校は、電気や水の大切さ、ゴミ減量など環境問題についてよく指導している」が5.2%減少しているが、達成率は80%を超えており、また児童の達成率は増加しているので、毎年見られる揺れ幅の範囲であると考えられる。同じく「20学校は、保護者・地域の願いや声を聞こうとしている。」の達成率は81.4%と8割を超えているが、2番目に大きく減少している。「3お子様は、先生に気軽に相談できると感じている」も昨年度に比べて3.6%減少し、73.9%となっているが、児童の結果では達成率89.4%となっており、差が見られる。これらの項目に見られる達成率の減少は、学校が、保護者の方の要望に、もう一步応えられていない現状を反映していると思われる。今後も保護者の願いをよく聞き、丁寧に対応をしながら、子どものための連携をしていきたい。

教師のアンケート結果では、達成率増加の項目数は昨年度の2項目から12項目に増加し、達成率減少の項目数が20項目から9項目に減少した。達成率が特に増加した項目は「18学校は、適切に交通安全や不審者対策を施し、児童の安全を守っている」であった。登下校や校外学習に出るときの交通安全指導はもちろん、東海警察署の方の指導による不審者対応訓練で、実践的な対応を学ぶことができ評価につながっていると思われる。一方、「9学校は、けやきっこ活動等、他校にない独自の教育活動を行い成果を上げている」の項目において、達成率が昨年度から25.0%減少し、41.7%であった。児童の結果では、達成率の増加が見られたが、昨今の児童数の増加にともない、これまでと同じやり方のけやきっこ活動が難しくなっている現状が、職員の評価に表れている。けやきっこ活動は保護者の結果でも高く評価されており、東山小学校の特色になる活動であることから、今後の活動方法を現状に合ったものに変えていくことが課題である。

今年度、三者共に達成率が増加した項目が「12将来の希望」「21社会のきまりやマナー」の2項目見られた。児童が、日々、自分の目標をもって取り組み、将来の夢や希望をもつこと、学校、社会のきまりやマナーを守って生活することは、安定した学校生活と人としての成長につながることである。この状態が維持できるようにしたい。一方で、三者共に減少した項目が、「1あいさつができる」であった。達成率が大きく減少している訳ではないが、

児童の達成率は80%に達していない。人とのつながりをつくる基本の挨拶が自然にできるように、学校、家庭、地域で呼びかけ、実践できるようにしたい。また、「22きらきらチャレンジ」においては、教師45.8%、児童62.2%、保護者49.5%となり、教師と保護者の達成率は昨年度より増加しているが、児童は2.4%減少している。活動の意図やねらいについて、児童や保護者に継続して伝えながら、活動に取り組むことで得られる効果を実感できるような投げかけや工夫を考えていきたい。

対象別のアンケート結果について (P8～P10参照)

4～6年生児童へのアンケートは、本年度も本校の特色ある活動である異学年交流と、「きらきらチャレンジ」についてを中心に設問した。児童だけのアンケート結果からは、昨年度と同様に縦割り掃除での下級生との関係に難しさを感じていることがうかがえるものの、「縦割り活動での嫌なことはあるか」の項目は、昨年度が「ある」と答えた割合が28.6%だったのに対し、今年度は12.8%と減少していた。本年度も、児童会主催の異学年で楽しむ企画が東山タイムに多く行われ、たくさんの児童が参加して楽しんでいた。「縦割り活動のよいところは何か」の質問に対し、「いろいろな学年の人と交流できて楽しい」と答える児童が多く見られ、異学年交流のよさを少なからず経験できているのではないかと思われる。また、異学年交流ができる企画を児童たち自らが考え、主体的に楽しもうとしていることが、よりよい交流体験につながっているのではないだろうか。

保護者へのアンケート項目「1この学校に通わせてよかった」は昨年度よりも、達成率が0.5%減少し、94.2%であった。そう思わなかった5.8%の保護者の意見を真摯に受け止めたい。「2メール配信から得られる情報は、必要で役に立つ」の項目では、達成率が93.1%で昨年度よりも2.2%増加した。保護者の意見からは、「イベントチラシの配信が多くて、重要な情報にたどり着くまでに時間がかかってしまうので、チラシは送ってほしくない」という意見があった。また、「学校のホームページから得られる情報は、必要で役に立つ」の項目では、達成率が昨年度より3.6%増加し、73.1%であった。引き続き、見る人にとっての有用な情報発信に心がけ、魅力ある記事を配信していきたい。

教師へのアンケートでは、「相談しやすい雰囲気がある」は1.4%増加し、79.2%であった。また「業務内容や進め方の改善に取り組もうとしている」の項目は、0.9%増加し、75%であった。引き続き、風通しのよい職場づくりや、子どもに向き合う時間の確保のための働き方改革を進めていきたい。

(2) まとめ

本年度は、コロナ禍を通して変わったさまざまな活動を継続して取り組んできた。児童は、日常から同学年や異学年との交流がたくさんできるようになり、友達との交流を楽しむ様子が多々見られた。また、地域の方や外部講師を招いての学習や、校外に出かけて見学や体験をするなど、人との関わりや実体験から学ぶ機会が増えたと感じている。学校行事や学校公開、地域の行事等では、子どもたちががんばっている姿を保護者をはじめ、多くの方々に見ていただくことができた。保護者の皆様や地域の方々からのお声かけにより、子どもたちは

励まされ、自信につながっていると思われる。また、保護者の回答で、達成率80%を越えている項目が多いのは、直接本校における教育活動を目にさせていただき、教職員が一丸となって取り組んでいる姿や、児童一人一人が活動する様子を見ていただくことができたからだと考え。引き続き、教育活動の公開や情報発信に努めていきたい。

学校教育のあり方について、それぞれの立場から貴重なご意見をいただいている。ひとつひとつを真摯に受け止め、未来を担う子どもたちの健やかな成長のために、職員一同、さらに一丸となって取り組んでいきたい。

9 学校評議員の皆様のご意見から

- ・縦割り活動についての、児童の意見が前向きですばらしい。人を責めるのではなく、自分の足りない部分に気付いたり、伸ばしたりしてくれる活動として捉えている。
- ・「縦割り活動の嫌なこと」の意見が昨年よりも少ないと思う。→担任が縦割り活動をする意義を話していたことがよかったのではないかな。また、昨年は、コロナ禍で縦割り活動をやれなかった高学年が、いきなりリーダーをやっていたので、うまくできなかったことも考えられる。
- ・挨拶についての達成度が高くないことについて、最終的な結果を見るのではなく、伸びしろを見るとよい。4月より5月、6月と挨拶をする様子の変化を見て、よくなっていることに気付いた大人が声をかけていくと、子ども達は自信をつけていくと思う。東山小の子ども達は、気にかけてくれる大人に対して、態度によい変化が見られる子が多いと感じている。
- ・H&Sでの配信について、紙資源の節約になっているのは確かだと思うが、チラシデータの大量配付の改善はできるとよい。
- ・H&Sの配信を見ていない家庭もあると思う。また、データで流し見ていると、大事な内容が記憶に残りにくかったり、見落とししたりしてしまうこともある。提出物関係の連絡があった場合、親が見落としとして出せなかったり、不備があったりするなど、親のミスの場合もある。子どもの責任ばかりではないこともあるので、叱る前に話をよく聞いて対応してもらえるとよい。
- ・水泳の授業が5～7月に実施できたのはよかった。子どもの体調のことを考えると、寒い時期の水泳は避けられるとよい。